

コミュニティ・スクールとは・・・

## 豊橋市のコミュニティ・スクール概念図

【豊橋市のコミュニティ・スクールがめざすもの】

### 「未来をつくる人を育むまち・豊橋」

(第6次豊橋市総合計画)

学校運営協議会 と 地域学校協働活動 を一体的に推進する



コミュニティ・スクールの充実により…

支援される側から支援する側へ(学びの循環)



子どもたちの豊かな学びと成長

地域学校協働活動とは?

- ・のびるん de スクール  
(放課後の児童の豊かな体験活動)
- ・Do のびるん de スクール  
(土曜日の小5～中3の豊かな体験や学び)
- ・トヨッキースクール  
(休日等における地域と子どもの交流)  
※豊橋市事業

- ・P T A活動
- ・登下校、放課後校庭開放等の見守り
- ・授業支援、読み聞かせボランティア
- ・行事、クラブ活動、地域文化学習支援
- ・昔遊びを通した世代間交流 など



地域のつながりの強化・充実



やりがいの創出



地域教育力の向上

持続可能な地域社会の創り手の育成

地域とともにある学校づくり



学校を核とした地域づくり

子どもを中心に学校づくり・地域づくりを考えることで、地域を一つに！

## 嵩山小学校「コミュニティ・スクール」について

嵩山小学校は、令和8年度から「コミュニティ・スクール」になります。豊橋市では、令和9年度に全部の小学校がそうなります。

コミュニティ・スクールとは、「地域と共にある学校」のことです。「地域の人は、みんな先生」という合言葉のもと、子どもたちがより多様な人々から学んだり、交流したりなど、子どもたちの生きる力やコミュニケーション力の向上をねらいとしたものです。また、これまでとの違いは、「スクール・コミュニティ」として、学校をプラットフォームとして活動・交流することで、地域の絆を広げ、地域づくりにもなるといった意味もあります。

したがいまして、コミュニティ・スクールは、地域のかたがたといっしょに、地域の未来の担い手である子どもたちを育む、学校をきっかけとした、持続可能な地域づくりの取り組みです。

コミュニティ・スクールの活動は、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）のかたがたが中心となり、活動の輪を広げていただきます。さまざまな活動が考えられ、決まりごとはありません。

今現在も嵩山小学校では保護者や校区の皆様と協働しながら子どもたちを育てています。「コミュニティ・スクール」となったとはいえ、これまでと大きく変わることはございませんが、嵩山っ子たちを育むために、自分ならこういったことができる…、他の保護者のかたと一緒にこんなことやってみたい…、仕事もあるので長時間は厳しいので、短時間なら…等々、お考えいただき、主体的にご協力をいただければうれしく思います。

今、嵩山小学校では…

《学校支援ボランティア》 「ありがとうの会」で感謝を伝える

- ・授業支援（田植え…お米の会、大念仏、姫街道、柿、ホタル…）
- ・ふれあい交流会（三世代交流）
- ・農園指導（サツマイモ、ジャガイモ）
- ・子ども見守り隊（登下校、巡回指導等）
- ・530運動（春・秋2回）
- ・校内現職研修講師（地域を学ぶ教職員の研修）
- ・学習の充実につながる物的支援（田畠の貸し出し、物品、道具などの貸し出しや提供）
- ・校内、嵩山川周辺の環境整備（草刈り他）



子どもたちの様子をご覧になりながら、子どもたちの活動を支えていただけたとありがとうございます。

《地域との合同行事や地域行事への参加》

- ・校区合同運動会
- ・資源回収（年4回）
- ・嵩山大念仏（子どもたち参加、校長・教頭）
- ・校区敬老会（校長）
- ・嵩山保育園 お遊戯会、運動会、卒園式等（校長）
- ・校区団体長会（教頭）
- ・市民館運営委員会（教頭）
- ・子ども教室スタッフ会議（教頭）

《放課後や休日等の子どもの活動》

- ・放課後子ども教室
- ・のびるんdeスクール
- ・市民館講座
- ・総合型地域スポーツクラブ《SKITS》



今後、コミュニティ・スクールにかかるボランティアである「ほたるんサポーター（仮称）」を鋭意募集させていただきます。ご理解とご協力をお願いします。